

第93回北九州市都市計画審議会 審議概要

(1) 会議の日時・場所 令和6年8月5日(月)14:00～15:10
ホテルクラウンパレス小倉 2階

(2) 出席した委員および臨時委員の氏名

	氏名	役職	出欠
1	異島 明子	北九州商工会議所女性会 副会長	○
2	泉 優佳理	科学技術コミュニケーション研究所 代表	○
3	井手 江美	つくしのくに鑑定株式会社 不動産鑑定士	○
4	井上 龍子	八幡駅前開発株式会社 代表取締役社長	○
5	岩岡 優子	野上裕貴法律事務所 弁護士	×
6	内田 晃	北九州市立大学 副学長	○
7	木原 幹雄	北九州市農業委員会 農業委員	○
8	栗山 知子	産業医科大学産業保健学部 特任教授	○
9	小西 佐知恵	北九州子育て支援団体Humming bird 代表	○
10	白木 裕子	NPO法人ケアマネット21 代表理事	×
11	神 陽子	九州国際大学法学部 教授	○
12	長 聡子	西日本工業大学デザイン学部 准教授	○
13	寺町 賢一	九州工業大学大学院工学研究院建設社会工学研究系 教授	○
14	中川 由夏	株式会社A E A設計室 一級建築士	○
15	松永 裕己	北九州市立大学大学院マネジメント研究科 教授	×
16	田仲 常郎	北九州市議会議員（議長） 自民党・無所属の会	○
17	本田 忠弘	北九州市議会議員（副議長） 公明党	○
18	渡辺 均	北九州市議会議員 自民党・無所属の会	×
19	渡辺 徹	北九州市議会議員 公明党	○
20	白石 一裕	北九州市議会議員 ハートフル北九州	○
21	山内 涼成	北九州市議会議員 日本共産党	○
22	藤木 信司	福岡県警察本部 交通部長 (代理：福岡県警察本部 交通部 交通規制課課長補佐 高崎 勝也)	代
23	大河内 哲子	北九州市女性団体連絡会議 会長	○
24	高木 颯太	公 募	○
25	舂巴 晴美	公 募	○

※ ○は出席、×が欠席、代は代理出席を表す。

(3) 議事要旨

別紙のとおり

(3) 議事要旨

[付議事項]

議題第 407 号 北九州広域都市計画地区計画の決定について（北九州市決定）
舞ヶ丘地区【小倉南区】

1. 説明

地区計画の概要及び議題内容の説明を行った。地区計画の変更の原案及び案に対する意見書の提出はなかった。

2. 質疑

【交通安全対策について】

○質問・意見

物流等の倉庫ができることで、工事車両の搬入のための運搬車両等の通行があると思われる。子供たちが通学等で危険になると思われるので、舞ヶ丘地区に住んでいる住民、特に子供達に対しての交通安全の周知を学校等に行ってもらいたい。

○回答

地域住民、周辺の方々には提案があった事業者から、舞ヶ丘地区地区計画の内容について事前説明がなされている。事前説明時に、周辺住民の方から、工事関係車両等を団地内へ通さないで欲しいという意見があったと事業者より聞いている。当該地と舞ヶ丘団地では、高低差が約 30mある。今回の工事用車両や物流関連の車両については、舞ヶ丘団地の団地内は通行しないと事業者は考えているおり、周辺の住民の方々にも説明していると聞いている。

また、産業施設 A 地区にある既存の T O T O の工場や日通の物流倉庫の関係車両についても団地内を通行するのではなく、長野津田 1 号線等を通行していると聞いている。

○質問・意見

舞ヶ丘団地の学校区が 2 つに分かれているということで、学校にも周知を行い、先生方に注意するように呼びかけをしていただきたい。

○回答

頂いた意見について、事業者へ伝える。

【建築物高さの最高限度について】

○質問・意見

建築物の高さの最高限度が 36m ということで、一般的にはかなり高さの高い建物のようなイメージがあるが、36m まで許可をすることに対して周辺の方から特に意見はなかったのか。

○回答

舞ヶ丘団地が地盤高から約 35m～50m の高さに位置しており、それに対して今回の当該地は地盤高から 10～12m のため、平均して約 30m の高低差がある。約 6m の高さの建物が、団地のところから見えるようになるが、日照権等についても考慮しており、影響は軽微であると思われる。事業者が舞ヶ丘団地の方々に説明を行ったが、反対の意見もなかったと聞いている。

3. 審議結果

原案どおり可決された。

[報告事項]

議題第 408 号 下関北九州道路の都市計画手続きについて

1. 説明

下関北九州道路の事業概要及び都市計画手続き等のスケジュールを説明した。

2. 質疑

【事業の周知について】

○質問・意見

下関北九州道路の計画の影響で、下道の小倉港線の車線数が一部減少することについては、より丁寧な説明を心がけて頂きたい。

○回答

今後も、丁寧な説明を心がけていきたい。

○質問・意見

市民に対して知らされる情報が少ないため、事業主体、総工費、そして総工費の負担割合などをこまめに出していただきたい。

○回答

事業主体、負担割合は未定のため、示された際にはしっかりと市民説明を行っていきたい。

○意見

人口減少下であり、将来世代が過度な負担を負うことがないように配慮して頂きたい。また、一方的に説明する形でなく、対話形式となるよう心掛けて頂きたい。

○回答

新ビジョンにもある「稼げるまち」を目指すための基盤整備の取り組みである。今後の自治体毎の費用負担割合の協議においても、北九州市の負担を軽減できるように進めていきたい。

住民説明については、市政だより、ホームページ、マスコミなどで広く周知している。都市計画手続きの中での縦覧・公聴会以外にも、出前講演で自治会などに説明を行い、意見も広く頂いている。今後も多くの方に知っていただく機会を設けて、色々な意見を聞いていきたい。

○意見

住民の方々だけでなく、若い世代向けの出前講演も実施して頂きたい。

○回答

若い世代への周知の場も設けていきたい。